

受験番号

氏名

「建築計画」は問1～問4までの全4問です。試験問題は1ページあります。解答用紙は2枚使います。問1～2は解答用紙1枚目、問3～4は解答用紙2枚目を使用してください。それぞれの設問の問題文をよく読み、指示に従って解答してください。他の科目と同じ解答用紙には解答しないでください。解答用紙には解答した問番号がわかるように、解答用紙に記入してください。採点時に問番号がわからない解答は0点となります。

問1 ※解答用紙1枚目を使用

PPP/PFIについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 官民連携（PPP）の一形態である PFI とはどのような手法かを具体的に説明せよ。
- (2) PFI 事業のメリットを従来型の公共事業との違いに着目して説明せよ。

問2 ※解答用紙1枚目を使用

集合住宅の計画について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 集合住宅の通路形式において、階段室型、片廊下型、中廊下型それぞれの長所と短所を具体的にあげよ。
- (2) 集合住宅の各部計画に関して、次の空欄を埋めなさい。

「共用廊下の幅は、片廊下型の場合（①）m 以上、中廊下型の場合（②）m 以上とする。バルコニーにおいて、手すりの高さは（③）m 以上、縦ざんの場合、その間隔は内法（④）cm 以下とする。

また、各戸の界壁の壁厚は RC 造の場合、最低（⑤）cm 以上とし、できるだけ 12cm 以上とする。」

- (3) コレクティブハウスの定義とメリットを説明せよ。

問3 ※解答用紙2枚目を使用

各種寸法とスケールについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 寸法設計に関して、パーソナルスペースとは何か、説明せよ。
- (2) 車椅子使用者が移動する傾斜路（スロープ）の設計に関して、次の空欄を埋めなさい。

「スロープの勾配は、基本的に屋内で（①）以下、屋外で（②）以下とする。スロープの有効幅員は、（③）cm 以上（平行して階段が設けられている場合は（④）cm 以上）が望ましい。スロープの起点・終点及び高さ（⑤）cm 以内に踊場を設ける。踊場の踏幅は（③）cm 以上とする。」

- (3) 建築物で見られる黄金比、白銀比とは何か、それぞれ具体的な事例を挙げて説明せよ。

問4 ※解答用紙2枚目を使用

住宅地の計画について、以下の問いに答えなさい。

- (1) ニュータウン計画の基礎となった近隣住区論とは何か、説明せよ。
- (2) ボンエルフ方式について、ラドバーン方式との違いに着目して説明せよ。